

令和5年度

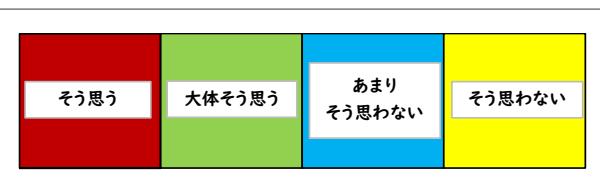


祥栄だよりへ後期学校評価へ

令和6年2月1日
京都市立祥栄小学校
校長 中村 薫
TEL075-681-1556

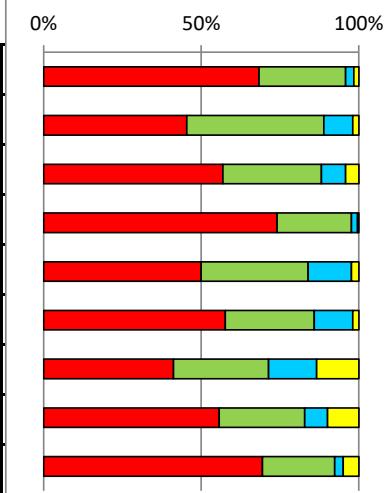


12月に実施しました学校評価の結果がまとめましたのでお知らせします。今回の結果や前期(7月)の結果との比較から見えてくる成果や課題、現状等をもとに、今後の教育活動を計画してまいります。本校の強みやよさをさらに伸ばしながら、課題を改善・解決していくことができますよう、今後ともご支援・ご協力をよろしくお願ひいたします。アンケートへのご協力ありがとうございました。



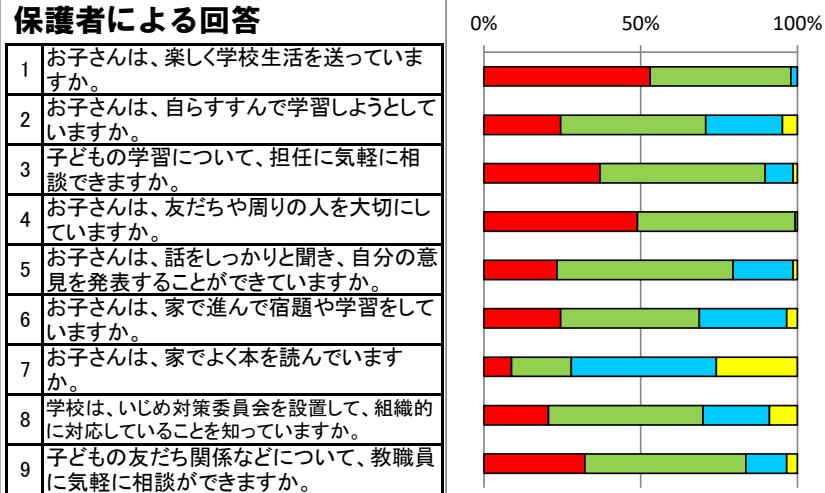
児童による回答

1	学校は楽しいですか。
2	自分からすんで学習しようとしていますか。
3	学習で分からなことがありますか、先生に相談できますか。
4	友だちや周りの人を大切にしていますか。
5	話をしっかりと聞き、考えて、自分の意見を言うことができますか。
6	家ですんで宿題や学習をしていますか。
7	学校でも家でも、よく本を読んでいますか。
8	いじめ対策委員のメンバーなど担任の先生以外に相談できる人がいることを知っていますか。
9	友だち関係などで困ったことがありますか、相談できる人(先生や友だち等)がいますか。



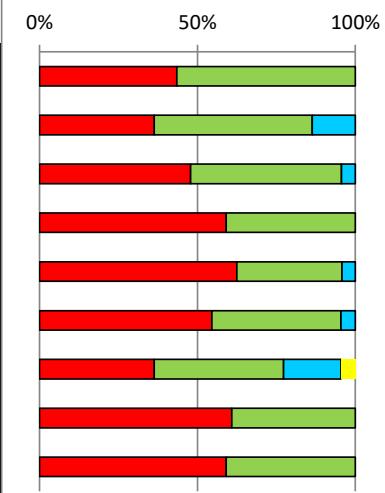
保護者による回答

1	お子さんは、楽しく学校生活を送っていますか。
2	お子さんは、自らすんで学習しようとしていますか。
3	子どもの学習について、担任に気軽に相談できますか。
4	お子さんは、友だちや周りの人を大切にしていますか。
5	お子さんは、話をしっかりと聞き、自分の意見を発表することができますか。
6	お子さんは、家で進んで宿題や学習をしていますか。
7	お子さんは、家でよく本を読んでいますか。
8	学校は、いじめ対策委員会を設置して、組織的に対応していることを知っていますか。
9	子どもの友だち関係などについて、教職員に気軽に相談ができますか。



教職員による回答

1	子どもが楽しく取り組み、達成感をもてる活動を意図的に行っていますか。
2	一人一人が主体的に力をつけられる授業を工夫していますか。
3	子どもや保護者の思いを受け止め、相談にのっていますか。
4	一人一人が徹底的に大切にし、児童同士が互いに認め合うことができる学級づくりを行っていますか。
5	子どもたちに「話す・聞く」という学習の基本ルールを身につけられるように指導していますか。
6	家庭学習への働きかけや宿題の出し方の工夫を行っていますか。
7	本の楽しさに気づかせ、読書好きな子になるように指導をしていますか。
8	学校いじめ防止基本方針の内容を理解し、組織的な対応に努めていますか。
9	児童や保護者の訴え(アンケート結果含む)や相談内容を共有していますか。



【令和5年度後期学校評価】

今年度本校は、学校教育目標および目指す子ども像を以下のように定め、その目標の達成をめざし、日々の教育活動を進めています。



【学校教育目標】

未来に向かって たくましく 生きぬく子の育成
～なりたい自分の実現をめざして努力する子～

【めざす子ども像】

- ・**よりよい くらしをめざす子**…基本的生活習慣を身につけ健康な心と体を造る
- ・**自ら考える子**…今もっている知識と経験の総力で考える
- ・**自他を大切にする子**…良さに気づき認め合い、共に生きる

また、「自ら学ぶ力」を育むことに重点を置き、次のことを意識した学習活動の創出を目指しています。

【育成をめざす資質・能力】

- ・自分が持っている知識と経験のすべてを使って考える
- ・他者の考えを取り入れ、合わせる
- ・学びを生活に活かす

【よりよいくらしをめざす子】※健康・安全に関する項目

●前期と比較して、「13. 早寝・早起き・朝ごはん」は、児童が1%・保護者が6%、「16. 集団登校」は、児童が2%・保護者が5%の数値の低下が見られます。これらの項目は、保護者の方がよく把握されている内容になると想いますので、15名前後の児童が、例えば、早起きができず、集団登校に間に合わない・学校に遅れてくるようなことがありますと言えます。

早寝・早起き・朝ごはんは、子どもの成長を促す・免疫力を高めるなど、健康な体づくりの他、1日のリズムづくり・集中力アップ・記憶の安定化など、子どもの健やかな成長には欠かせません。大人になっても大切にしたいこれらのが習慣化できるよう引き続き指導していきます。

【自ら考える子】※主に学習に関する項目

●「2. 進んで学習している」は、前期と比較して大きな増減はありません。3学期の内に、今の学年で学習した内容をしっかりと定着させ、4月を迎えてほしいです。

●「6. 進んで家庭学習」の項目では、否定的な回答が、児童・保護者ともに約3%(人数にして7・8名ほど)増えており、「7. 家庭での読書」も数値が下がっています。進んで家庭学習ができるないと回答した児童は14% (40名)ほどですが、中学校以降のことを考えると、小学生の頃から、家で机に向かう習慣をつけておくことは重要です。家庭学習や読書、お手伝い、遊びなど、家の過ごし方・時間の使い方を決めて、規則正しく・計画的に過ごせるようになってほしいと思います。

【自他を大切にする子】※豊かな心や社会性に関する項目

●「1. 学校が楽しい」は、児童95.8%・保護者98%と前期同様に高い数値となっています。「4. 友達や人を大切にする」も、前期96.4%→後期97.7%と、高い数値にありながらもさらに上がっています。

それでも、集団生活の中では、当然ながら児童間トラブルは起きてきます。トラブルを未然に防ぐため、言葉づかいや人との関わり方に気をつけることはもちろん、トラブルになった時に、自己のことを主張して言い争うのではなく、互いの気持ちや意見を尊重しながら話し合えるようになってほしいと思います。

いつでも・どこでも丁寧な言葉づかいができるよう、ご家庭でもお声かけをお願いします。